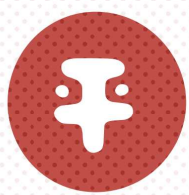


ちょう こ かん
徴古館の再開

鍋島家伝来品の博物館として再スタート



成に入ると、鍋島家で守られてきた歴史資料を郷土佐賀で活用するため、鍋島報効会では調査に着手し、戦後永らく閉館していた徴古館も平成10年(1998)に約半世紀ぶりに博物館として再スタートしました。

鍋島家の歴史や佐賀の地域史に関する調査研究成果は、展覧会やイベントを通じて発信され続けています。徴古館ではこれまで99回の企画展を開催し、延べ約3,500点の資料をご紹介しました(令和5年3月現在)。

毎年2月から3月には地域のイベントである佐賀城下ひなまつりの会場となるほか、近年では10代鍋島直正公の手紙をまとめた冊子を市内の児童・生徒へ配布するなど、佐賀市との協働事業を毎年行い、歴史的・文化的資産の活用を進めています。このパネル展も、城下の古地図など佐賀藩の歴史を物語る鍋島家伝来資料を読み解いた成果が反映されています。



(上) 鍋島家伝来品の展示
(下) 佐賀城下ひなまつり開会式 平成28年2月11日

